

～コミュニティ・スクールだより No.2～

氷川町小中学校コミュニティ・スクール連携協議会事務局

各学校で第1回目の学校運営協議会を開催しました。それぞれの会議での様子を紹介します。

第1回学校運営協議会（竜北西部小学校 5月16日）



「やる気・ゆう気・根気！一人ひとりが輝く竜西っ子」の教育目標に向け、3つのワーキンググループ（命育み・夢育み・家庭教育支援）に分かれ取り組めます。子供たちの意見を聞き、委員会活動などの応援もできるよう、新しくCS委員と6年生が委員会ごとに給食を一緒に食べるランチミーティングを企画。子供たちの思いを活動に取り入れていきます。CS会長の「『ありがとう』があふれる学校に！」という思いで一致団結しました。

第1回学校運営協議会（竜北東小学校 5月2日）



「子供たちが地域の中に入って行って、地域の中で学び、生きる力を身に付ける」ことを目標に「命を守る班」と「家庭教育支援班」に分かれて今年度も活動を進めます。保護者同士の交流の場づくりとして、まず授業参観日に、1年生保護者対象に給食試食会を開催し、「親の学び」プログラムを使って保護者同士をつなぐ取組を企画。

地域貢献活動（梨マラソン大会の応援うちわづくりなど）もさらに取組を深めようと、行政所属のCS委員の協力のもと打合せにも力が入りました。

第1回学校運営協議会（宮原小学校 5月18日）



創立150周年となる本校は、「主体的に生きる宮っ子の育成」の教育目標を掲げ、教育活動に取り組めます。「創立150周年を祝う会」をCS委員が応援する体制づくりについて協議しました。また、先生方の働き方改革にもつなげようと、まずは校内にある茶畑の整備や花壇の花植え等の環境整備、子供たちの放課後での学びの場「輝塾」を5、6年生まで広げるなど、先生方の願いの実現の為、充実したCS活動へとつなげていきます。

第1回学校運営協議会（竜北中学校 5月25日）



学校教育目標「夢の実現へ向け自ら挑み、学び続ける竜中生」に向け、「防災」WT（ワーキングチーム）・「夢」実現WT・オータム交流会の取組がより充実したものになるように協議しました。4人の生徒が、CS会長から委嘱状を交付され、子供委員として一緒に取り組みます。

まずは、「夢」実現プログラムの1つ「ようこそ先輩」で、CS委員が教室に出向き、人生の先輩として中学生に伝えたいメッセージを送ります。

第1回学校運営協議会（氷川中学校 4月27日）



『夢』『氷川中プライド』をもち、社会人としての基礎力を磨き合う氷川中生徒の育成」の教育目標のもと、子供委員が、今年度の生徒会テーマ「挑越」の決意表明をしました。CS委員へ協力依頼を堂々とする子供委員の姿に、今年度も生徒の活躍をサポートしながら頑張っていこうとCS委員も思いを新たにしました。まずは、地区懇談会で地域の方、先生方、PTA とつながり、生徒を核に、それぞれの『夢』に向けて一緒に取り組んでいきます。

毎月15日は、「氷川町あいさつ運動一斉行動の日」

氷川町は毎月15日、あいさつ運動に取り組み、各学校の校門では、「先生・児童、生徒・保護者・地域住民・行政」の5者が集まり、元気な挨拶が飛び交っています。小中連携した取組として、中学生の代表が、それぞれ母校の小学校に出向き挨拶する姿も見られます。



各学校運営協議会は年間5回会議を行い、それぞれの学校の教育目標に沿って、学校の課題や困り感に寄り添い、CS委員のそれぞれの立場で知恵を出し合い、何ができるかを話し合います。学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていきます。